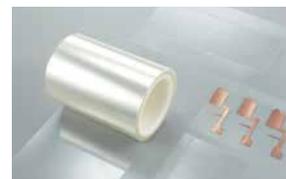


会社沿革

1927年	4月	塩飽啓祐が東京・巣鴨に不二商會を創立 包装用ガムテープの製造・販売を開始	2001年	12月	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ (韓国)社を設立
1931年	8月	不二商會を改組し、不二合名会社を設立 (東京・板橋に移転)	2002年	6月	琳得科(蘇州)科技有限公司を設立
1934年	10月	不二合名会社を改組し、不二紙工株式会社 を設立	8月	リンテック・スペシャリティ・フィルムズ (韓国)社を設立	
1960年	3月	ラベル用粘着紙の製造・販売を開始 後に粘着フィルムの製造・販売にも着手	2003年	6月	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ (フィリピン)社を設立
1972年	3月	ラベリングマシンの製造・販売を開始	8月	リンテック・スペシャリティ・フィルムズ (台湾)社を設立	
1984年	10月	FSK株式会社に変更	10月	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ (ヨーロッパ)社を設立	
1986年	7月	東京証券取引所市場第2部上場 UV硬化型ダイシングテープを開発し、 半導体関連事業に本格参入	2004年	2月	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ (上海)社を設立
1987年	9月	米国のマディコ社を子会社化	8月	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ (マレーシア)社を設立	
1989年	3月	東京証券取引所市場第1部銘柄に指定	9月	リンテック・コリア社を設立	
1990年	4月	四国製紙株式会社および創研化工株式会社 と合併し、リンテック株式会社に商号変更 粘着紙・粘着フィルムおよび関連機器分野 から特殊紙、剥離紙・剥離フィルムにまで業 容を拡大	2009年	6月	リンテック・ベトナム社を設立
1991年		光学ディスプレイ関連分野に本格参入	2010年	8月	龍野工場の再構築工事が完了
1994年	5月	リンテック・インドネシア社を設立	2011年	6月	リンテック・タイランド社を設立
1995年	1月	モダン・プラスチック工業株式会社を 子会社化(1996年4月に合併)	2012年	11月	リンテック・インドア社を設立
	4月	リンテック・シンガポール社を設立	2013年	12月	ナノサイエンス&テクノロジーセンターを開設
	4月	リンテック・ヨーロッパ社を設立	2015年	1月	リンテック・アジアパシフィック社を設立
	12月	研究所の新棟を建設	5月	研究所に先端技術棟を新設	
1999年	3月	リンテック・インダストリーズ(サラワク)社 を設立	2016年	10月	米国のVDI社を子会社化
2000年	4月	リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社 を設立	11月	英国のリンテック・グラフィック・フィルムズ 社*を子会社化 *現リンテック・ヨーロッパ(UK)社	
	7月	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ (台湾)社を設立	12月	米国のマックタック・アメリカ社を子会社化	
			2021年	4月	米国のデュラマーク社*を子会社化 *現Mactac, Inc.

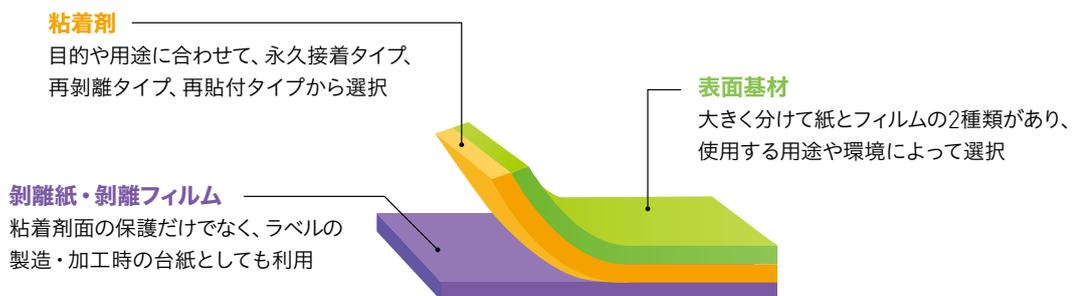
ウインドーフィルム	建物や自動車などの窓ガラスに貼られる粘着フィルム。室内や車内の空調効率の向上、紫外線の遮蔽、ガラス破損時の破片の飛散低減といったさまざまな効果を発揮する。
屋外看板・広告用フィルム	屋外に設置される看板、電車やバスの車体広告・装飾などに使われる粘着フィルム。
カーボンナノチューブ	炭素でできた直径がナノ(10億分の1)メートルレベルの筒状の素材。軽量ながら曲げや引っ張りへの耐性に優れ、高い導電性と熱伝導性を持つ。
光学ディスプレイ関連粘着製品	液晶・有機ELディスプレイを構成する光学機能性フィルムに粘着加工を施した製品やタッチパネルの構成部材を貼り合わせるための粘着シートなどがある。
工業用粘着テープ	スマートフォンに代表されるモバイル機器などに搭載される精密部品の接着・固定用両面テープ、液晶用部材の抜き加工・搬送用微粘着テープといった工業用途に使われる粘着製品。
合成皮革用工程紙	合成皮革の製造工程で、革の表面に柄や光沢をつけるための型紙として使用される剥離紙。
自動車用粘着製品	ドアサッシの塗装の代わりに貼られるフィルムや新車のアルミホイールを保護するためのフィルム、オートバイの装飾用フィルムなどがある。
積層セラミックコンデンサ関連テープ	コンデンサ内部を構成する数百層もの極薄のセラミック層を形成する際に使用される剥離フィルム。
炭素繊維複合材料用工程紙	髪の毛のように細い炭素繊維を樹脂でシート状に固めた複合材料をつくる際に、台紙としての役割を果たす剥離紙。
特殊紙	さまざまな色合いや風合い、機能などを付与した特殊な用途に用いられる紙。カラー封筒用紙や色画用紙をはじめ、クリーニングタグとして使用される水にぬれても破れにくい紙や、食品包装に使用される耐油耐水紙などがある。
内装化粧フィルム	室内の壁などに貼ることで、多彩な空間演出を実現する装飾フィルム。さまざまな質感や色合いの素材があるほか、デジタル出力によるオリジナルデザインの装飾も可能。



<p>バイオマス</p>	<p>生物由来の有機性資源。バイオマス材料をラベル用粘着製品の表面基材や粘着剤に使用することで、化石資源の保護やCO₂排出量の削減など環境負荷の低減につながる。</p>
<p>半導体関連装置</p>	<p>半導体製造の後工程で使用される装置。半導体関連粘着テープを貼付・剥離したり、テープの粘着力をコントロールするために紫外線を照射したりする装置などがある。</p>
<p>半導体関連粘着テープ</p>	<p>半導体製造の後工程で使用される特殊粘着テープ。半導体ウェハを薄く削る際の回路面の保護や、ウェハを切断して個片化する際の固定などに用いられる。</p>
<p>ホットメルト</p>	<p>熱で溶かしながら塗工する常温固形タイプの粘着剤。塗工時に有機溶剤で希釈する必要がないため、環境負荷を抑制できる。</p>
<p>ラベリングマシン</p>	<p>ラベルを対象物に自動で貼り付ける装置。物流用の宛名やバーコードなどを印字するプリンタを搭載した機種もある。</p>
<p>ラベル用粘着製品</p>	<p>絵柄や文字などを印刷したり、バーコードなどの可変情報を印字したりする前の無地の粘着紙・粘着フィルム。幅広い用途に用いられる紙ベースと、耐久性や耐水性、意匠性に優れるフィルムベースがある。</p>



ラベル用粘着製品の基本構成



Other Information

会社情報／株式情報

2021年3月31日現在

本社

〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
TEL.(03)5248-7711
FAX.(03)5248-7760
URL:www.lintec.co.jp

設立

1934年10月15日

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

資本金

232億85百万円
発行可能株式総数:300,000,000株
発行済株式の総数:76,630,740株

上場証券取引所

東京証券取引所市場第1部
証券コード:7966

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

従業員数

連結:4,913人
単体:2,618人

大株主

日本製紙株式会社	30.06%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6.08%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4.87%
全国共済農業協同組合連合会	3.63%
庄司 たみ江	2.48%

主要関連会社 *連結対象子会社

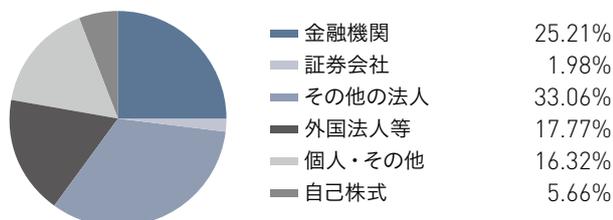
国内

リンテックコマース株式会社*
リンテックサインシステム株式会社*
湘南リンテック加工株式会社*
リンテックサービス株式会社
リンテックカスタマーサービス株式会社
プリンテック株式会社
東京リンテック加工株式会社

海外

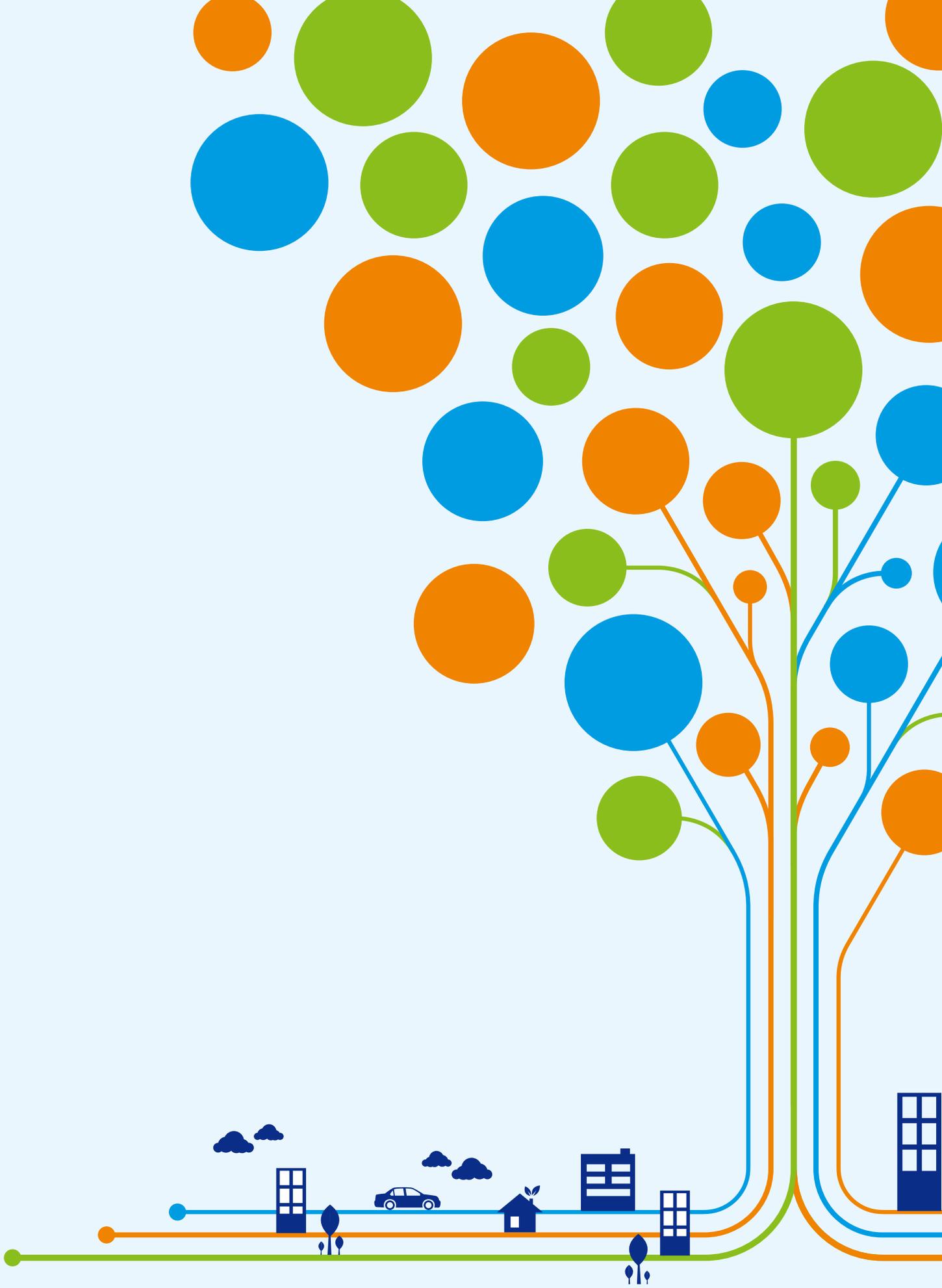
リンテック・USAホールディング社*
リンテック・オブ・アメリカ社*
マックタック・アメリカ社*
マディコ社*
VDI社*
リンテック・ヨーロッパ社*
リンテック・ヨーロッパ(UK)社*
リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(ヨーロッパ)社*
琳得科(蘇州)科技有限公司*
普林特科(天津)標簽有限公司*
リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(上海)社*
リンテック・スペシャリティ・フィルムズ(台湾)社*
リンテック・ハイテック台湾社*
リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社*
リンテック・コリア社*
リンテック・スペシャリティ・フィルムズ(韓国)社*
リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(韓国)社*
リンテック・アジアパシフィック社*
リンテック・シンガポール社*
リンテック・インドネシア社*
リンテック・ジャカルタ社*
リンテック・タイランド社*
リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社*
リンテック・インダストリーズ(サラワク)社*
リンテック・クアラルンプール社*
リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(マレーシア)社*
リンテック・ベトナム社*
リンテック・ハノイ・ベトナム社*
リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(フィリピン)社*
リンテック・フィリピン(ペザ)社*
リンテック・インドア社*

所有者別分布比率



株価および出来高の推移







リンテック株式会社

リンテック株式会社
〒173-0001
東京都板橋区本町23-23
www.lintec.co.jp